

# ARIK no.74

みんなで、つくろう。  
みんなで、たのしもう。



展示作品や作家にまつわるエピソード等をご紹介していただきました。  
●7月16日：国立西洋美術館研究員によるギャラリートーク

色水と水でっぼうで、おもいっきり遊びました！Tシャツの色もキレイですね～！  
●8月20日：「びしゃびしゃアート」



親子で、ゴムで動く木の車をつくりました！  
●8月6日：「Go! Go! 走るぞ！木のクルマ！」

粉に水を加え、こねると粘土に！おもしろ～い！！  
●6月14日：湯沢東小学校2年生「粉から土ねんどをつくらう」

さまざまな水彩のテクニックで花を描きました！  
●6月3日・4日：「水彩画教室 「花を描く」」



ダンボールなどを使ってオリジナルの仮面を作り、パレードをしました！  
●5月6日：スズキコージ展ワークショップ「仮面 DE パレードだぜい！」

5階中央ホールに、切り絵でつくった万国旗が登場です！  
●5月7日：スズキコージ展ワークショップ「万国旗をつくろうぜい！」



# スズキコージ・ ヤッホーホイホー展

2017.4.22(土)–7.8(土)

東北初開催となったスズキコージ展。今でも多くのファンをもつ、デビュー作の『ゆきむすめ』、代表作品の『きゅうりさんあぶないよ』『ガラスめだまときんのつこのヤギ』をはじめ、近年旺盛に展開するライブペインティングによって生まれた大型絵画やオブジェなど156点を展示しました。

スズキコージさんの作品の魅力は、鮮やかな色彩と濃密な描写、そして型にはまらない発想の自由さにあります。このたびの展示では、コージさんの魅力を余すことなくご紹介することができました。特に第4展示室の壁いっぱい展示された大型絵画や天井を縦横無尽に彩る切り絵による万国旗、さらには、所狭しと飾られたパティック(ろうけつ染め)や段ボールでつくったガイコツのオブジェ。まさにコージワールド全開でした。

また、開会初日から2日間、コージさんに展示室内でライブペインティングを行っていただきました。完成した作品は、制作時に使用した椅子や板材などと共に展示し、あたかもアトリエにいるかのような雰囲気を感じていただくことができました。ワークショップも多数開催し、コージさんと共に作った仮面や万国旗づくり、パレードなど、多くの方に楽しんでいただくことができました。(担当:西野、木村)

- ライブペインティング&サイン会 4.22~23  
〈こどもの本WAVE in あきた2017〉との共催事業
- ワークショップ『仮面DEパレードだぜい!』&サイン会 5.6
- ワークショップ『万国旗をつくろうぜい!』&サイン会 5.7
- トークショー&朗読会&サイン会 5.7
- ABSアナウンサーと学芸員によるギャラリートーク  
出演:佐藤有希さん 5.27  
出演:酒井茉耶さん 6.17
- こどもギャラリートーク 5.28、6.18  
講師:当館学芸主事



スズキコージさんによるライブペインティング ●4月22日、23日



朗読会のイベントにもコージさんご本人が登場! ●5月7日



トークもお楽しみいただきました! ●4月21日、5月27日

## 2017コレクション展第1期

### 没後20年 紺野五郎

2017.4.12(水)–7.17(月・祝)

コレクション展第1期では、男鹿市出身の洋画家・紺野五郎をピックアップしました。

単身横浜で教員として働きながらデッサンに情熱をかたむけ、作家としての礎を培った時期の作品から、絵肌や画面構成を追究した時期、そして「留守家族」シリーズに代表される、人物の心情やドラマをテーマとし、調和した色彩と考えぬかれた構成によって表現するようになった時期までを広くご覧いただきました。本展では、デッサンや完成作に近い下絵を油彩と同時に展示しました。お客様は精細に描きこまれた見応えのある下絵をじっくりとご覧になり、油彩画の大作と見比べて楽しんでいらっしゃいました。(担当:小林)



紺野五郎「いくつかの出会い」1982(昭和57)年制作

フォーラム、色彩、裸婦  
表現を追究した  
飽くなき探究心

○ギャラリートーク

5.14、6.11





馬淵館長（左3人目）と仲町館長（右）、ご来賓によるテープカット ●7月14日



国立西洋美術館の馬淵館長による記念講演会 ●7月15日



内覧会での川瀬主任研究員によるギャラリートーク ●7月14日

## 平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ：まなざしの先の女性たち

2017.7.15(土)–9.18(月・祝)

「ミューズ(芸術の女神):まなざしの先の女性たち」では、国立西洋美術館のコレクションより、西洋の“女性作家”と“美術作品に表されてきた女性の姿”に着目して選ばれた103点の絵画、版画、彫刻、工芸作品が展示されました。会期中はたくさんの方々にご来場いただき、西洋美術館の大ファンという方からは「いつもは常設展で親しんでいる作品も、こうしたテーマの中で鑑賞するとまた違った印象を受ける」というお声が寄せられました。西洋美術館の川瀬主任研究員による内覧会での作品紹介に始まり、馬淵館長の講演会、中田研究員のギャラリートークなど、関連イベントも充実し、大好評のうちに幕を下ろすことができました。（担当:奈良、藤井）

- 記念講演会「女性たちはいかに描き、描かれたか」 7.15  
講師：馬淵明子さん（国立西洋美術館長）
- 国立西洋美術館研究員によるギャラリートーク 7.16  
ナビゲーター：中田明日佳さん（国立西洋美術館研究員）
- ABSアナウンサーと学芸員によるギャラリートーク  
出演：鴨下望美さん 8.6  
出演：八重樫葵さん 8.19
- ミュージアムコンサート「ヴァイオリン・ピアノデュオ  
～アフタヌーン名曲カフェ～」 8.27  
出演：浅野未希さん（ヴァイオリン）、齋藤洋さん（ピアノ）

西洋の巨匠たちに靈感を与えた、女神たちが舞い降りる。

## 女性像、その多彩な描かれ方。 2017コレクション展第2期 Femme(ファム) 女性のすがた

2017.7.20(木)–10.9(月・祝)

コレクション展第2期「Femme」では、同時期開催中の5階「Muse」展に連動し、当館所蔵の作品の中から、女性像をモチーフに描いた作品や、女性作家の作品を展示しています。物語の中に描かれる女性たち、時代を反映したモダンな姿の女性たち…と色々な女性がいる中で、やはりご注目いただきたいのは本県出身の福田豊四郎が描く作品群です。農村に見いだされた形の美、色彩の美、野良着の伝統的な模様の美が、豊四郎の見事なセンスによって造形化されています。農村を美しい夢のように描き出すのは、豊四郎のみならず秋田の作家の特徴なのかもしれません。6つのパートに分かれており、様々な女性のすがたが楽しめます。特別展と合わせてどうぞご鑑賞ください。（担当:鈴木）

○ギャラリートーク 7.23、9.9



ギャラリートーク。町田曲江作「太子と王妃」の前にて ●7月23日

### 上半期に実施したそのほかの事業

#### キンピ・創作体験プログラム

- 「水彩画教室 花を描く」 6.3、4  
講師：鈴木司さん（秋田公立美術大学美術センター教授）
- 「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマ!」 8.6  
講師：当館学芸主事
- 「びしゃびしゃアート」 8.20  
講師：当館学芸主事
- 型染め教室「ハンカチを染めよう」 9.2、3  
講師：森香織さん（秋田公立美術大学助教）



# Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展

2017.9.23(土・祝) - 11.26(日)

明治期、極めて高い技術により制作された工芸品の多くが海外へと輸出され、高い評価を得ましたが、残念なことに日本国内では次第に忘れられてしまいました。しかし近年、これら工芸品の展覧会が開催され、テレビや雑誌等でも紹介されるなど注目を集めています。本展では、清水三年坂美術館、京都国立近代美術館、東京国立博物館から、七宝、金工、漆工、彫刻、刺繍など幅広い分野から精選した108点の作品を展示しています。ぜひご来場の上、明治工芸の素晴らしさに触れて下さい。(担当：保泉、鈴木)

- 記念講演会「明治工芸の魅力」 9.23  
講師：村田理如さん(清水三年坂美術館長)
- ミュージアムコンサート「箏と尺八の調べ」 10.1  
出演：稲葉興賢さん(箏)、藤田新山さん(尺八)、斎藤玖賀さん(箏)
- ワークショップ「蒔絵に挑戦！」 10.14  
講師：齋藤國男さん(工芸家)
- ギャラリートーク 10.8、10.29



村上盛之「銀冬瓜大香炉 金虫添」明治時代 清水三年坂美術館蔵  
撮影：木村羊一

超絶技巧！メガネはお忘れなく！

## TOPICS!

### 県立近代美術館 休館のお知らせ

秋田県立近代美術館は、改修工事のため、下記の期間休館いたします。

**2018(平成30)年 2月1日(木) ~ 3月31日(土)**

本年度開催予定の企画展「美術館の眼Ⅷ」、第4期コレクション展「没後10年 横山津恵」は次年度へ延期となります。何卒ご理解のほどお願いいたします。

劣化した展示室のクロス張り替えなど、改修工事の後4月1日(日)にリニューアルオープンの予定です。

次年度の情報は随時当館のホームページ及び印刷物等にてご案内いたします。



1994年に開館し、今年で24年目を迎えた秋田県立近代美術館。

## INFORMATION

### 2017年度・下半期の展覧会

#### 特別展・企画展

● 生誕100年 千葉禎介写真展 12.2 ~ 2018.1.31

#### コレクション展

● 第3期 生誕140年 平福百穂 10.12 ~ 2018.1.31

2017.12.29 ~ 31、2018.1.9 ~ 18、  
2018.2.1 ~ 3.31 は休館いたします。

#### 館外展示など

- ネットワーク事業(会場：秋田県立図書館)  
第1期 没後10年 横山津恵 9.30 ~ 10.19  
第2期 絵画×物語 描かれたストーリー 12.16 ~ 2018.1.29
- 出前美術館 in MOJA(ミュージアム・オブ・神代アート)  
(会場：仙北市立神代中学校) 11.7 ~ 11.11
- 出前美術展 一中村征夫 写真展一  
(会場：能代エナジウムパーク) 2018.2.10 ~ 2.25

### つくる、しる、たのしむ(2017年下半期)

#### キンビ・創作体験プログラム

きっすあーと(未就学児対象)  
● どろどろアート 10.15

美術館教室(中学生以上一般)  
● 日本画教室『猫を描こう2』(全2回) 11.4、5  
講師：小笠原光さん(日本画家)

#### みんなの教室

(小学生以上一般。小学生低学年の児童が参加する場合は保護者要同伴。)

● 子どものための日本画教室 11.19  
講師：樫尾康子さん(県教育庁生涯学習課)

● 光の箱をつくろう 12.10  
講師：松村泰三さん(東北芸術工科大学准教授)

#### しる・たのしむ

● ミュージアムコンサート「箏・尺八の調べ」 10.1

● 『火水(カミ)の歌 ~ Somewhere in the World』 12.3

● 歌曲集『詩人の恋』 レクチャーコンサート 2018.1.7

## 秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)  
休館日 12.29 ~ 31、2018.1.9 ~ 18

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)  
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858  
E-mail: akitamma@rnac.ne.jp

交通 車●秋田自動車道・横手インターより3分  
バス●横手バスターミナル(JR横手駅東口)～ふるさと村 15分

ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索!  
twitter、facebookも開設しています!

●発行編集・秋田県立近代美術館  
●2017年9月30日発行

